

こうふ町 議会だより

江府町の未来を担う子どもたち



令和4年 新春マラソン大会

12月定例会2P~3P
一般質問4P~6P
組合議会・陳情7P
常任委員会8P~9P
住民懇談会10P
議員意見書11P

議会のことをわかりやすくお伝えします

12月定例会

一般会計予算総額

42億2,340万円

補正予算の主な内容

一般会計(6号〜9号)

歳出の主な内容

新型コロナウイルス感染症対応事業者支援事業(8事業者)
100万円増額

子育て世帯への臨時特別給付金
1,400万円増額(現金5万円分)
※後に10万円の年内現金給付へ変更

ふるさと納税報償費(返礼品その他経費)ほか

5,000万円増額

除雪委託料ほか
4,752万円増額

〈新型コロナウイルス対策事業分〉
DX推進事業(高齢者端末取得費用補助金ほか)
398万円増額

新型コロナウイルスワクチン接種事業
1,241万円増額

給油等助成券配布事業
1,124万円増額



ふるさと納税で人気のある「奥大山の水」

令和3年12月定例会は8日招集され14日までの7日間と定めて開かれました。
今回の定例会には、令和3年一般会計補正予算と特別会計補正予算、条例改正等14議案が提出され、議会ではこれらについて慎重に審議した結果、いずれも原案通り可決しました。
9日の本会議では3名の議員が一般質問に立ち、活発な議論が展開されました。

条例

議案案件	内容
江府町公告式条例の一部改正について	条例の主たる公布方法を紙面で庁舎前に掲示する方法から、町のウェブ上に設置した掲示場に掲示する方法に改めるもの。
江府町国民健康保険条例の一部改正について	国民健康保険法施行令等の出産育児一時金の支給額の見直しに関する条項が改正されたことに伴い、本条例に規定する出産育児一時金等の額を「40万4千円」から「40万8千円」に改正するもの。
江府町国民健康保険税条例の一部改正について	国民健康保険法等が改正され、本条例の未就学児に係る保険料の減額等に関する国民健康保険税条例の一部改正するもの。

全員協議会

町道下黒坂線改良事業(舟場地内から下安井までの道路整備)休止に至る経緯

〔現状と背景〕

- 令和2年10月江府町は日野町の事業実施が決まる迄休止とする。日野町は事業費の大幅な増により事業の見直しが必要と判断。
- 決算審査の指摘において、関係機関などと協議し、費用対効果等も検証して事業の方向性を示すよう指摘有。
- 日野町と事業休止について協議(令和3年11月22日)
- (令和3年11月26日)に日野県土整備局と事業休止について協議。

義務教育学校開校に伴う閉校式・開校式について

〔江府小学校・江府中学校開校式〕

期日 令和4年3月26日(土)

〔奥大山江府学園開校式〕

期日 令和4年4月7日(木)



「江府町SDGs宣言」の公表について

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の蔓延下において、社会の価値観は大きく転換し、若い世代を中心として「環境負荷への配慮」や「社会課題への影響」を重視する傾向が高まり続けている。また先ごろ英国で開催された「国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)」における議論に見られるように、環境変動の抑制に対する国や地方公共団体、企業の取組み姿勢が重視される傾向は今後一層強まるものと考えられる。

この様な環境下において、「SDGs」はすでに政府や多くの地方公共団体において主要施策として位置づけられ、主要企業は率先して行動計画を明確にしていることから、本町においても「SDGs」の推進に向けた取り組みを令和4年度の主要施策として位置づけ、新年度予算に関連する諸施策を盛り込むこととしたい。

1、宣言の位置づけ

令和4年度における新たな町の主要施策の一つとして位置づけるうえで、予算案の提出に先立ち、環境問題をはじめとする「SDGs」の推進に向けたわが町の基本的姿勢を示すことを目的とする。

2、宣言(案)の公表時期

- 令和4年2月上旬を想定(予算案提出までに行う)
- 同時にパブリックコメントを行い、意見を求める
- 3、宣言の時期
- 令和4年4月初旬

※SDGs..エスディージーズ..2015年に国連サミットで採択された、より良い世界を目指す持続可能な17の開発目標のことです。

新庁舎始動開始

飛躍への準備は？



川端 登志一



川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

住民サービスの向上は上質なスキルと適正な人員配置から！

質問 新庁舎内電子化促進により住民への対応は向上しているか？

町長答弁

令和4年度から本格的にペーパーレス化を進める、専門人材を配置して電子化を進め住民サービスの向上につなげたい。

質問 電子化促進により仕事量に変化はあるか？

町長答弁

決着や協議の時間を短縮している、奥大山クレドにより行動基準を作成しスピードアップを図っている。

考える。充足率90%の現状の過不足をいかに見ているか？

町長答弁

職員の数は人件費として町財政に関わる。今ある人員で出来る限りのやりくりに努めている。

質問 人口激減の昨今人材獲得難は役場も例外ではない。認識と今後の打つ手は？

町長答弁

人材確保の難しさを感じている。是非働いてみたいと思われような役場にしたい。色々な面から良さをアピールしていきたいと考えている。

質問 移住定住や住民満足度向上のための専任者を配置してはどうか？

町長答弁

専任は考えていない。「こつこつのためよ」が移住定住に関わっているのだから必要な所に結びは足りると考えている。

質問 専門職（土木技師・保健師など）を、採用後自前で育成するべきと考えるが、

町長答弁

保健師は難しいと思うが、土木技師に関しては適正を見て採用し、専門的な教育を施すことも考えなければならぬ。

とも大事と考えるので、安全を勘案しながら取捨選択していきたい。

質問 町内で大型建設工事が計画施工されている。工事中途での見学会は貴重な体験となる。ふるさとの理解と愛着を一層深めるような授業を計画してはどうか？

教育長答弁

平成30年の宮ノ谷トンネルはまさに中途の見学会でした。勉強になったとの声が多く、高評価であったので関係各所にお願ひしてしっかりと取り組みたい。

質問 日野川本流や支流周辺には希少な動植物がみられる場所が多数ある。この役場周辺にも鳥取県でも数少ない三郡変成岩と呼ばれるものが存在する。是非身近なことを教材として学習に活かすべきと考えるが？

教育長答弁

学習指導要領に示されている内容を年間授業時数で学習する必要があり、あらゆる学習に於いて体験的な学習は難しいが、言われるようなことを急ぐ必要があると思うが。

町長答弁

特定地域づくり事業協同組合に関しては、農業に限らず新規雇用づくりのためにも、いざ設立しようと考えている。



トンネル工事見学会の様子

新年度予算作成に当たり、農家維持のための

具体的な政策提案について



森田 哲也



森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

価格安定の確立のために

質問 飲食店などのコロナ補償のように、農産物にも同じように活用し、コロナ禍が原因で大きく下落したコメの価格格差を補償すべきと考えるが。

町長答弁

商業関係のように、例えば国のコロナ対策が適用できるようなら考えてもいいという気はする。

農業資材等の購入助成を

質問 現在の原油高により燃料代、石油農業資材等が高騰し、コメ

ナ禍による収入減少の打撃をさらに大きくしている。購入助成は喫緊の問題と考えるが。

町長答弁

当初予算の時に考えた。ただ、原油高に関する問題は、農家の方だけの問題でなく、町民の方全体に通じ、これはまた別途に考えたい。

農業施設維持の支援拡充を

質問 鳥獣による被害など、新たな災害があり、農家の負担額の軽減が必要と思う。また新しい技術開発など、この度のソフトバンクとの連携事業に含めてはどうか。

農業委託の助成と受託組織の新設を

質問 財政的なことは、理解しているが、事業の優先順位をどうつけるかによって、農家が諦めるか、希望を持てるかの分かれ目になる。例えば、農作業の中で一番の重労働である、草刈り等の作業委託に対する助成の新設。また、特定地域づくり事業協同組合の設立など新しい受託先、新たな働き場所の設

町長答弁

新しい技術を使っての労力軽減など確かに研究する価値はある。ソフトバンクとも協定を結んでおり、そうした問題も提起してみたい。ただ、財政的にも限界がある。

集落営農組織の維持対策を

質問 集落営農組織の継続性を後押しする助成事業は大切。特に土地利用型作物の支援補

立を急ぐ必要があると思うが。

町長答弁

特定地域づくり事業協同組合に関しては、農業に限らず新規雇用づくりのためにも、いざ設立しようと考えている。

新規、継続の担い手に支援を

質問 担い手確保は重要。補助事業の対象者の拡大に合わせ、定年退職者の本格的農業参入者への融資や補助事業など新規の事業実施が必要と思うが。

町長答弁

農業従事者が少なくなっている中で、新規事業者は、幅広く応援することは必要と思う。新規参入者を促進する施策は実施する必要があるので考える。



これからの「農家維持」「集落維持」を考える

米価安！米作りから 転作に向けて



春を待つ水田



芦立 喜男



動画で一般質問
芦立議員の一般質問は
動画サイトyoutubeで
ご覧いただけます。

今後の、江府町の農業と担い手対策について

質問 江府町の20年30年後の話ですが、人口が2000人を割り1500人を割り、江府町の農業が大変な事になっており、誰が農業を支えているのでしょうか。そこで私の提案ですが、農業を支えてくれ、江府町に住み農業の担い手に対して補助金を支給する。農業年金の形で60歳まで積み立て、60歳になったら満期として、その積立金を支給する。この財源はふるさと納税で充当する。この案はどうかでしょうか。

町長答弁 農業の担い手を今住んでいる人、あるいはその身内だけで考えていてもしばらくはといて思いますが。新しい血を入れていく必要があると思います。その時、米だけ作っても儲からぬのには本当にそこへ人が来るのかという話は、絶対にある話です。いろいろ農業をする若者に、補助金を一律交付については反対です。一律にやるものではないかと思っております。例えば、新規に農業を始めるとか、政策的に集落に入ると集落営農を進めるために若者が入っていくとか、あるいは退職者が入っていくとかないし、漫然と出すことはいくらも出さなくてもいいと思います。

農業生金の原資は、ふるさと納税を充当していく

話もありましたが、これも全く考えていません。

町長答弁

町としては、新日泉を何年も前から栽培をやっている程度実績を作ったところですが、これを町内に普及させたいと思っております。当然普及させるためには補助金が必要であるかと考えています。

国民健康保険の税率について

質問 令和元年から令和3年にかけて65歳から74歳の国民健康保険加入者は年金収入年額200万円の人で、2万8100円国民健康保険料が増加しています。今後はどうなるのか町民には知らない人が多いので周知を図って頂きたい。

町長答弁

国民健康保険は、中高年齢者や自営業の方が多く加入されています。そういったことから医療費が増加していますし、保険料の負担能力が弱い

方々の加入割合が高くなってきているということもあって、保険料の負担率が高くなっているという構造的な問題を抱えています。

福祉保健課長答弁

医療費は、高齢化により大変増加しておりますし、2025年問題と言われておりますように、

今後当分の間は増大が続いていくと考えられます。町民への税率の周知については、各々納税通知書に明記されていますので、それぞれお支払い頂く方を見て頂いてお思いますけれど、私も個人通知というものが究極の周知方法だと思っております。医療費の動向、それから今後のこと等についての背景やお知らせと言ったのが、正直やっているとないな自分も認識していますので、これから必要に応じて、町民のみならず医療費の背景、今の状況を分かって頂けるような広報を考えていきたいと思っております。

日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告

- ・し尿処理場条例の一部改正が行われた。
近年の燃料費等、諸物価の高騰による現状を鑑み、し尿汲取り料金を1リットルにつき11,715円を12,386円（税込み）に改正。
- ・令和3年度組合会計補正予算（第2号）が可決された。
分担金及び負担金を9,000千円減額 そのうち江府町の負担金減額分
し尿処理分 1,390千円
ごみ処理分 2,129千円 合計 3,519千円
- ・くぬぎの森での動物残骸処理（有害鳥獣）について、黒坂7区に打診し、焼却試験を来年度実施を検討する。

日野病院組合議会報告

- ・病院事業会計の補正予算が可決された。
鳥取県医療施設等設備整備費補助金として、5,500万円を計上。へき地医療拠点病院設備整備事業に係る器械備品購入費に充当。
- ・在宅介護支援事業会計の補正予算が可決された。
鳥取県地域医療介護総合確保基金により、軽自動車を1台購入（1,353千円）のため。
- ・議案以外の報告事項
人工透析患者の送迎サービスの実施について報告があった。
現在、日野病院では運転手を1名採用し、全て病院のスタッフで送迎を実施。祝日のみ各自治体の送迎支援を利用。江府町は、公用車、町営タクシーを利用。
今後、透析患者数の増加や、患者その家族の高齢化に伴い、送迎サービス対象者の増加が予想され、既存の日野病院と各自治体の送迎支援のみでニーズに応えていくことができるか課題である。

陳情の審査結果

件名	提出者	審議結果
(陳情第6号) 鳥取県内に放射性廃棄物の最終処分場を建設させない議会決議のための陳情書	米子市角盤町4の21 反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会・ 実行委員長 基山 将範	趣旨採択 (全員一致)
(陳情第7号) 放射性廃棄物を生む原子力発電の停止を求める意見書提出に関する陳情書	米子市角盤町4の21 反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会・ 実行委員長 基山 将範	趣旨採択 (全員一致)
(陳情第8号) 「日野高等学校 黒坂校舎グラウンドの陸上競技場トラック整備について」の採択を求める陳情書	鳥取県日野郡日野町本郷68番地3 日野郡陸上競技協会 会長 竹永 明文	採択 (全員一致)
(陳情第9号) 「ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い」の採択を求める陳情書	ウイグルを応援する全国地方議員の会 会長 丸山 治章	趣旨採択 (全員一致)
(陳情第10号) 「ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める陳情書採択のお願い」の採択を求める陳情書	東京都文京区後楽2-3-8第六松屋ビル401号室 特定非営利活動法人 日本ウイグル協会 会長 干田ケリム	趣旨採択 (全員一致)

所管事務調査報告書

教育民生常任委員会

調査日 令和3年11月24日(水)

総務経済常任委員会

調査日 令和3年11月17日(水)

本委員会は、町内の事業所並びに町財政状況について調査したので以下の通り報告します。

◎佐川地内土地建物取得箇所

現状：令和4年1月より開発業者を募集し、秋には造成及び住宅の建設に着手の予定。

考察：当用地は、近隣にインターチェンジや道の駅等が有り、町の活性化及び発展が期待される。積極的に事業展開されたい。

◎カサラファーム

現状：市民農園のまま語学学校施設の「鳥取英語村」として使用している。8月以来既に100名の利用実績がある。

考察：建物は老朽化が進行しており、特に雨漏り対策は急がれる。積雪や寒さを逆手に取る体験型営業で

は、さらに多くの来場者の可能性があり、将来の移住定住にもつながる施設となる様支援されたい。



老朽化が著しいカサラファーム

◎奥大山スキー場周辺(木谷沢)

現状：通年での活用案を作成中であり、県と商工会が連携してサイクリング環境の整備を目指すサイクルツーリズムの研究や、ツーリングコースの選定、電子天体観望システムの設置も推進中である。

考察：ツーリングコースにおける休憩所や、水分や食べ物も補給できるエイドステーションとして、エバーランド奥大山の活用が見込まれ、

木谷沢の周遊遊歩道の開発と併せ、それが経済活動に結び付くよう研鑽を重ねられたい。

◎奥大山地美恵

現状：本年に於いては鹿の捕獲数が猪を越えている。販売状況は、道の駅で好調であり、営業展開は、JAアスパルを始め町外の施設との連携に努めてい

考察：ジビエ活用コイデイナーターの加工により、捕獲解体技術の継承不安は解消しつつあるが、郡内猟友会とも連携して後継者育成に努められたい。

◎農業公社

現状：農作業受託事業はほぼ計画通りである。新甘泉ナシ出荷量は、28トンで売上は150万円であった。

考察：作業時の安全は特に注意されたい。

稼働時間が1300時間以上の作業機械が複数あり、整備は入念にされたい。ナシの加工品については特産品となるよう努力されたい。

◎道の駅奥大山

現状：販売高は前年比115%でコロナ禍に於いては善戦している。コロナ明けには各種イベントを検討している。

考察：売り上げ目標1億円を設定している。地方メーカーとのコラボ商品は充実しつつある。隣接の「みちくさ」や「奥大山地美恵」との連携をより促進するよう行政は、しっかりと支援されたい。

◎NPO法人こうふのたより

現状：空き家現地調査をもとに空き家対策を実施している。移住定住相談は、毎

連携強化がより望まれる。持続的運営には、管理者となりうる医師の確保システムの確立が必要である。

◎社会福祉協議会

現状：コロナ禍により、事業活動が困難となっている。バス時刻の変更により、諸事業に参加のため、タクシー利用助成の要望がある。事務所は、古民家を利用してあり、災

年増加している。考察：空き家の確保が課題となっている。起業した「BMXパーク」、「奥大山水洗い珈琲」の注目度は高く、成果を出しつつある当委託事業については、行政と連携を密に事業を遂行されたい。

◎令和3年度江府町財政推計

現況及び考察 今後に於いて、固定資産税、地方交付税の減額が見込まれる。しかしながら、ふるさと納税は増加傾向にある。基金は、令和12年度で2億5600万円となり、公債費比率(一般財源の内、地方債の元利償還に要する経費の割合)は、3年度の136%から8年度には160%に達することが推計され、厳しい財政状況が予想される。さらなる創意工夫が反映された財政運営を執行されたい。

害時の対応が出来ない等移転などの検討が必要である。

考察：コロナ禍で、計画通りの事業が実施できていないが、今後の動向を見極め、事業展開をされたい。住民サービス向上のため、人員体制の充実と施設の移転等が必要となっている。また、愛の輪協力員等のボランティアの確保が課題となっている。

◎江府小学校 現状：義務教育学校に向け、6年生の移動がスムーズにできるようバスの確保など、移動手段が必要である。土曜学習・ふれあいの花活動など地域住民との交流を重視している。また、プールや旧給食センターの改修が必要となっている。

◎江府中学校

現状：義務教育学校への準備として、教科担任の派遣等、小学校と連携しながら実施している。生徒の状況は、生

◎江府小学校 現状：義務教育学校への準備として、教科担任の派遣等、小学校と連携しながら実施している。生徒の状況は、生

◎江府中学校 現状：義務教育学校への準備として、教科担任の派遣等、小学校と連携しながら実施している。生徒の状況は、生

◎俣野診療所

現状：当初計画以上の受診者数であり、1人当たり30分の対応時間を確保し、かかりつけ医としての医療を目指している。ふれあい学舎については、今後も地域医療の確立を目指していく。



災害時の対応が懸念される社会福祉協議会

奥大山江府学園日野川校舎へ通う全生徒の制服等統一着用について意見書を提出

令和3年11月24日(水)に、教育民生常任委員会の所管事務調査を行いました。その調査結果をもとに、新制服着用について議員全員で審議し、経済性や仲間意識等の観点から以下のとおり、意見書を提出しました。

「奥大山江府学園日野川校舎」全生徒の制服等統一着用を求める意見書

来年度から江府町は、義務教育学校「奥大山江府学園」が開校されます。

本町にとっては、大きな教育改革の始まりです。学園に通う生徒の皆さんをはじめ、保護者、学園関係者の皆さん、そして町民の期待は大きなものがあります。

この学園に通学する1期生・2期生(9、8年生)の生徒から、新しい同じ制服等を着用し、「奥大山江府学園」の生徒として、誇りと自信と希望を持たれ、気持ちよく通われることを望みたいと思う気持ちは、多くの町民が願うところと考えます。

つきましては、日野川校舎の全生徒が同じ制服等を着用され、保護者負担がないよう全額町が費用負担されますこと、また、今後は、制服着用期間が4年間となり、生徒の成長と共にサイズ等合わなくなることが予想され、2着目の購入等が考えられます。については、最上級生等、短い期間の着用の制服など、寄贈頂く仕組みを設けられ、制服等有効に活用されることを要望し、江府町議会として意見具申いたします。

令和3年12月14日

鳥取県日野郡江府町議会

江府町長 白石 祐治 様

住民懇談会

12月5日(日)
町防災情報センターに於いて

令和3年12月5日(日)午後1時30分より、江府町防災・情報センターに於いて、議会と住民の皆さんとの懇談会を開催しました。新型コロナウイルスの影響が多少緩和された事もあり、約2年ぶりの開催となりました。

初めに、議会の総務経済、教育民生の各常任委員会が、11月に行いました所管事務調査について報告をし、それぞれについて意見、質疑をいただき、応答を行いました。

また、その他のテーマについても、活発な意見交換がなされました。(以下抜粋)

主な意見

(総務経済)

佐川地内の住宅整備計画について

問 以前、商工会で建てられた住宅に、すぐにカビが生えていた。せっかく入られてもすぐに出て行ってしまう。後で残念な結果にならないように、管理についてチェックをしっかりと。

答 今度の佐川住宅は、民間業者からのお金を活用するPPP方式で、設計から建設、維持管理まで行われる予定。ご指摘、ご心配の件は、民間業者にも要望として取り入れていただく。

(教育民生)

義務教育学校について

問 義務教育学校へと移行していくが、6-3制ではなく、5-4制の学年割について。

答 義務教育学校検討委員会で協議。教科担任制の変化の流れ等を検討。小学校5年生も6年生と同じく、人格形成が出来ている。更に向上心が高くなる。6年生は、英語などが教科担任制により、身につけやすい。

保育園について

問 保育園の移転予定は。

答 現在の場所は災害のリスクが高いので、考えなければならない。

いもこ塾について

問 設立して6年。目的の学力向上、希望者の割合、感想、保護者の経費負担の減等について、議会として検証し、積み重ねがなされているか。

答 アンケート等、現状を把握したうえで事業スタート。中学校1年生、2年生の対応要望あり。今回の事務調査の項目には無いが、今後は留意して調査を重ねる。

(その他)

行政サービスとしての町営交通について

問 保護者が付き添わないとどこにも行けないのは安心だが、子どもにとっては、マイナス面も。自分で判断し、自由に行ける交通網が大切ではないか。

答 公共交通会議により、毎年見直しをかけている。町とも協議していく。集落間での格差がある。タクシーでは、御机・吉原・大河原は、片道1,500円くらい。学生についても、図書館での勉強等が制限されている状態。過疎地ならではの公共交通網が必要。有償ボランティアによる運行も提案したい。

その他意見(議員選挙について)

- ・選挙で定数割れとなり、メディアの報道内容に町民として、はらだたしく感じた。
- ・勇退する議員の退き方をもう少し考えてもらいたかった。

私のひとこと



久連在住 地域おこし協力隊
三村 明日海

江府町で ジビエに挑戦

ジビエを出品したことで、おかげさまで県外のお客様から注文があり、初めてわずか1ヶ月で10人以上の方へ美味しいイノシシやシカ肉をお届け出来ました。また、大阪の卸売会社の方にも品質を気に入っていただき、大量のイノシシ肉を注文されたことも印象に残っています。

今年8月から地域おこし協力隊として採用され、江府町に越して参りました。最初はジビエのことや食品衛生の管理についてのこと、領取書作成などの事務作業までも知らないことだらけでした。しかし宇田川さんをはじめとする奥大山地美恵の方々や役場の担当者様のご助力で、失敗しながらも『地域の人と協調する』『ジビエ活用や解体処理に必要な知識と実践を蓄える』といった目標を達成できたのではないかと思います。

着任した当初から今に至るまで、たくさん経験の積み重ねていただきましたが、特に最近の進展はふるさと納税に

地美恵のお肉が世に広まり、これから販路が拡大したとしても、多く売りたいための今の品質を落としたり、やり方を雑にしたりすまいと強く肝に銘じております。グリーンツーリズムとしてのジビエ肉の活用も興味があるので、いずれは古民家を利用してジビエや里山料理を出すレストランを作ることで、里山体験を提供できればと考えています。

まだまだ至らないことばかりですがこれからも宇田川さんの指導の元、解体処理とジビエ活用の基礎、衛生管理などを身につけていきたいです！



一旦 古川 正記

今後水稲の景観はどうなるの

私は、今現在一旦集落に在住しています。特に

ドライブが趣味で走っている気になることがあります。それは田んぼの耕作放棄地、以前水稲が植わっていた所に草が生え、2年と経つうちに木が根を張り森林状態になっていく田んぼを多く見かけます。

田んぼの面積は少なくなく父親が他界し何も分からないうちに引き継ぐことになり、ここ2、3年前から頭を悩ませています。機械一式はあるが、使い方が分からず見よう見まねで始めだし、仕事もあるのでなかなかできない中、何年か放棄していたせいか、水路だったり機械修理やトラクター等で耕うん作業、水稲作付までに今まで放棄していた分を復活させるまで3年以

上かかり、すぐに作付けするまで簡単ではなくわずか5、6年とか休耕していると復活までに3、4年以上はかかるんだと始めて知りました。今年やっと1枚だけきぬむすめを栽培できましたが、これからは、少しずつ何年かかけて一通り水稲栽培ができるよう頑張ります。

近年江府町では集落宮農と聞くようになりましたが、見たり聞いたりすると次の世代の耕作問題や米価下落により思うように黒字がでるような話ではないようです。結局は個人の田んぼは個人で最後まで次の世代が引き継いでいかなければならないことが分かります。

今後水稲栽培をすればするほど赤字をだすのを覚悟しながら取掛かるといふ気持ちはあります。江府町では違う作物を栽培してみてもあるが、やっぱり江府町の景観は水稲であると思いい、何とか水稲栽培出来るように頑張ろうと思います。他町のように江府町もいろいろな助成を検討してもらえると尚、うれしいなとも思います。



令和3年の議会活動を振り返ってみると、やはり新型コロナウイルス感染症対策に関わる内容が多かったようです。

前半は町議会選挙に関する話題もあり、議会や町に対する魅力などについても報道されました。決して魅力がないのではなく、未だ発掘しえないものが数多くあるのだと思います。

そして12月議会に於いては、議員からの発案として町に対し意見書を提出（「ページ参照」致しました）。令和4年も町民の代表として全議員が精一杯努力いたします。本年こそコロナが収束し皆様にとって良い年となるよう祈念し、あながきといたします。

川端登志一

広報公聴常任委員会

- 委員長 三輪 英男
- 副委員長 川端登志一
- 委員 阿部 朝親
- 委員 芦立 喜男

加藤 周二